『北海道の多自然川づくりガイド
～川づくりの評価＆事例集Ⅴ～』
発刊のお知らせ

平成９年に河川法が改正され、「河川環境の整備と保全」が河川法の目的として明確に位置づけられ、「多自然型川づくり」はすべての川づくりにおいて実施されるようになりました。

しかし、多自然川づくりが定着する一方で、画一的な標準横断での施工や、河床・水際を単調にするなど、課題の残る川づくりも少なくありません。

このような状況を受けて北海道では、川づくりの技術的水準の向上を目的に、平成 22 年より「北海道河川環境研究会」と「河川技術検討委員会多自然川づくりワーキング・グループ」が連携を図りながら、北海道の川づくり評価をテーマに、「多自然川づくり」に関する技術的な課題について検討・整理しているところです。

本ガイドは、北海道河川環境研究会および多自然川づくりワーキング・グループにおける現地調査や議論・意見交換により積み重ねた検討の成果を取りまとめたものであり、北海道の川づくりを考え、実践していくうえで手助けとなるように作成したものです。

【目次】

第１章　北海道における「多自然川づくり」のポイント
　〇北海道の川づくり基本計画の概要
　１－１　河岸・水際の工夫
　１－２　河床・みお筋の工夫
　１－３　護岸の工夫
　１－４　植生の工夫
　１－５　維持管理
　１－６　その他検討項目

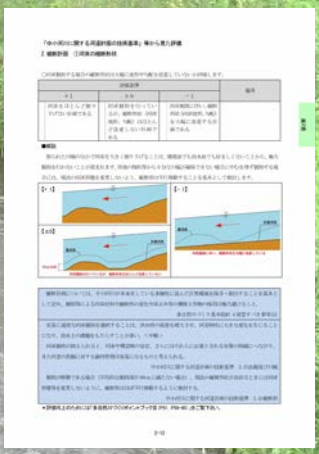
第２章　北海道における「多自然川づくり」の評価
　２－１　北海道の川づくり評価基準
　２－２　北海道の川づくり評価結果

第３章　北海道の川づくり事例集Ⅴ
　３－１　北海道の川づくり事例集

第４章　参考資料

▼多自然川づくりのポイントを解説

▼計画・設計、改修後における川づくりを評価する視点を解説



▼北海道の川づくり事例を紹介